



西村伊作は中学生の頃から夢を持っていて、授業中にもこっそり楽しい学校や住宅の図面を描いたりしていた。この夢から、大正10年に小さな学校が生まれました。「小さくて善いもの」たとえ質素であっても、美の調和があれば、心の愉しさがあれば、それは一つの大きな贅沢なのではないか？偉大なもの、豪華なものには手が届かなくても、小さく、ささやかなもので美しいものには手が届くであろう。みんなの忘れかけた幸せは、案外そこにあるのかも知れない。伊作はそれをやって見せたのである。

西村八知

常設展：「西村伊作 楽しみのためにする仕事」 Isaku Nishimura Life Works for Pleasure



生活改善を目指して開店した太平洋食堂



「自画像」 油彩

西村 伊作 (1884-1963)

和歌山県新宮市生まれ。幼くして熱心なクリスチャンであった両親を震災で失い、山林主の母方の西村家の養子となり、その遺産を引き継ぐ。青年期から独学で絵を描き、陶器を作り、欧米のモダンリビングを取り入れた自邸を設計。アメリカ留学を終えた医師である叔父、大石誠之助と本格的に生活の改善、欧米化を推進する。多くの芸術家達と交わり、「生活を芸術として」を実践すると同時に、著作により大正期の人々に新しい生活を啓蒙し続ける。家庭生活を大切に、教育にも熱心に取り組み、1921年、私財を投じて東京駿河台に「文化学院」を創立。戦前、公権力の弾圧を受けながらも、自らの理想を貫き通したその自由な生き方は、大正期を代表するモダニストとして、現在も多くの人々に感銘を与えている。

企画展：追悼展「西村八知と文化学院」 Memory of Hatch Nishimura & Bunkagakuin



「思い出の旧校舎」



「野原のユーロペ」



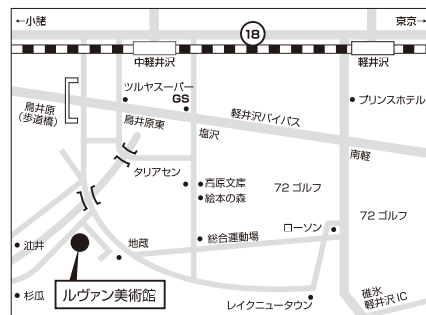
昨年で10回を迎え、又「八知ゼミ」を通し、卒業生とも交流を重ね、制作活動も続けた。2012年2月4日 逝去。享年90歳。

西村 八知 (1922-2012)

文化学院創立者 西村伊作の三男。文化学院、東京美術学校（現・芸大）卒業後渡仏し、ヨーロッパ、中東などの史跡、美術館を訪ねる。帰国後、文化学院で教鞭をとり、1988年より2007年迄、校長を務める。1997年、軽井沢ルヴァン美術館を設立し、館長となる。校長退任後は、新宮市の「熊野芸術セミナー」の講師として毎夏参加。

入場料	大人：800円 大学・高校生：600円 中学・小学生：400円 (団体割引、身障者割引あり)
春のアートフェスティバル	子どもたちの作品展示 10:00~17:00 5月3日(木)~5月6日(日) 入場無料
ローズフェスティバル -バラとお茶の会-	10:00~17:00 7月1日(土)~7月16日(月) 会費：2,000円(各種特典あり)
サマーコンサート	トイピアノコンサート (畑 奉枝/大久保宏美(リリ)) 7月16日(月) 18:00 開場 18:30 開演 2,500円
	①近藤和花 ピアノコンサート 8月11日(土)
	②ボサノバ/サバトスコンサート(木村 純・三三四郎) 8月18日(土)
	③一噌幸弘(能管・篠笛・角笛・リコーダー 他)・壺井彰久 8月25日(土)
	④ギター&ヴァイオリン デュオコンサート 9月1日(土) (上田浩司/カレン・イスラエリアン)
	18:00 開場 18:30 開演 ¥3,000(ワンドリンク付き)
	③④は軽井沢ペット福祉協会チャリティコンサート
秋のアートフェスティバル	スケッチ大会、体験教室 10:00~17:00 9月22日(土) 入場無料 *美術館展示説明会 13:00~

- JR 長野新幹線「軽井沢駅」下車または、乗継ぎ しなの鉄道「中軽井沢駅」下車で3km ※夏期は両駅より路線バス運行
- 上信越自動車道「碓氷・軽井沢IC」より12km 軽井沢バイパス18号「鳥井原」交差点(歩道橋)より杉爪方面へ1.5km
- 駐車場 20台収容



☆ カフェテラス Cafe Le Vent、ミュージアムショップ Le Vent は常時で利用いただけます。

**割引券** このチラシ持参の方は4名様まで100円割引させていただきます。